

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 電話・移送サービス事業
-------------------	--------------------------

区分	番号	名 称
章	1	やさしさと共生するまち
節	3	誰もが安心して暮らせるまちをつくる
施策	2	高齢者福祉の確立
小分類	2	高齢者福祉の充実
主要な施策	2	ひとり暮らし老人の支援
事務事業番号	002	事務事業コード 13222002 事業開始年度 平成 5 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	電話・移送サービス経費
------	------	------------	-------------

部 名	保健福祉部	グループ名	高齢・介護 G
-----	-------	-------	---------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	<p>(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください)</p> <p>移送サービス：65歳以上の高齢者（老人クラブ会員は60歳以上）で老人福祉センター利用者。 電話サービス：概ね65歳以上の独居高齢者及び高齢者世帯で病弱などの理由により近隣とコミュニケーションが少ない者。</p>
手段 (事業の内容・活動)	<p>(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください)</p> <p>移送サービス ・老人福祉センターを利用する高齢者に対し、送迎用バスによる移送サービスを行う。 ・送迎用バスに介助員を添乗させ、利用者が安全に乗降等できるよう便宜を図る。 電話サービス ・高齢者に対し、定期的に電話をかける。 ・民間団体へ委託（登別市老人クラブ連合会）</p>
目指す姿 (成果)	<p>(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください)</p> <p>移送サービス：高齢者の外出支援を行うことにより要介護状態になることを未然に防止し、自立した生活を維持する。 電話サービス：電話かけにより安否確認、健康状態や生活状況を聞き孤独感を解消し、生活の質の向上を図る。</p>
根拠法令等	<p>(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)</p> <p>・登別市ひとり暮らし老人等電話サービス事業実施要綱 ・登別市移送サービス実施要領</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	バス送迎利用者数（延人数）	人	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
			実績値	2,690	/	/	/	/
	電話サービス利用回数（延回数）	回	目標値	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
			実績値	736	/	/	/	/

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	1,026	954	954	954	954	2,862
合 計				1,026	954	954	954	954	2,862
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	66	69			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		66	69			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 移送：市の運行する福祉バス利用者に対してのサービスであるため。 電話：民間で事業を実施している事業者はなく、また、民間で行う可能性も低いため。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 移送：送迎バスによる高齢者の外出支援を行うことにより自立生活の維持に成果がある。 電話：電話かけによる独居高齢者等の孤独感の解消に成果がある。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのように向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 広報紙により事業周知を図ることで、成果の向上を図ることが出来る。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 移送・電話：最低コストで事業を行っており削減は難しい。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	移送：在宅高齢者の外出支援を行うことにより要介護状態の未然防止や自立した生活の維持が図られている。 電話：電話かけにより安否確認及び孤独感の解消が図られている。
----	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）